



関西青少年サナトリウム



ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

(2020. 1. 1第149号)



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム

〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地

TEL 078-967-1202 (代)

FAX 078-967-3626

HP アドレス <http://www.tohokai.jp/>

E-アドレス office@tohokai.jp

広報誌へのご意見・ご希望を上記
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

新年明けましておめでとうございます



平素より格別のご厚情を賜り誠に有難うございます。2020年の新年を迎えるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

当法人では昨年春よりスーパー救急病棟の開設準備を進めて来ましたが、病棟の改修も予定通り終わり、昨年12月より試行期間に入っています。多くの職員の努力によって本年4月には正式にオープン出来ると考えています。今後は、精神科診療所や総合病院の先生方からの診察や入院要請に対して、よりの確に応じられるものと確信しています。

次に、今年2月には、デイケアセンター、相談支援事業所、グループホーム、就労支援事業所の4部署を統括する組織として「地域リハビリテーション事業部」を新設する予定です。PSWやOT等が自らをマネジメントし、若手を育成し、リーダーシップを発揮できる枠組みが是非とも必要だと考えた次第です。このようにリハビリテーション部門と地域事業を再構築する事によって、当法人の包括的地域支援がより一層充実するものと期待しています。その先鞭として、昨年8月に新設したグループホーム「一人ひとり」では、当初より職員の24時間常駐体制を取っており、今までは退院不可能と思われていた利用者を次々に受け入れています。これからも、単なる共同住居ではなく、リハビリを行う通過型施設としてのグループホームの拡充に努めて参ります。

また、以前より積極的に実施して来た特殊治療ですが、m-ECT（修正型電気けいれん療法）については、神戸大医学部麻酔科学教室の全面的支援の下、安全第一を旨として、順調に症例を重ねています。今までに、123件（52名）に実施しています。昏迷状態や緊張病状態はもとより、統合失調症の難治例やうつ病の重篤例についても効果を上げています。そして、クロザリルの使用については、現在までの投与症例数は27件に達しており、難治例に試みるべき有益な薬剤である事は実証済です。治療件数はどちらも県下でトップクラスであり、他院からの依頼も含めて今後も積極的に取り組んで行きたいと思えます。

さて、内外の情勢は増々不透明な様相を呈しています。米中のdecouplingは今や現実的な問題となっており、世界は歴史的転機を迎えているようです。一方、国内では「モリカケ」や「サクラ」といった些末な話題に終始するのみで、人口減少が加速する中、国の予算が史上最高になろうが、日銀のバランスシートが膨張し続けようが、国の上下を問わず多くの人々は「知らんぷり」を決め込んでおり、その結果何となく長期政権が続いています。「祭りの後」の崩壊が危惧される所以です。

このように先が見通せない状況の中、当法人は、「敷居の低い癒しの場としての病院をめざして」の理念の下、全職員とともに「利用者第一主義を堅持し、奮闘する仲間を根幹として、競争力の向上に挑戦」して行きたいと念じています。

最後になりましたが、皆様の御健康と御多幸をお祈りしつつ、本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

関西青少年サナトリウム
理事長・院長 瀬川 義弘

北1病棟 改装工事完成のご報告

今年の6月から始まっていた北1階病棟（精神科急性期治療病棟）の改修工事が完成し、11月18日には神戸市保健所の許可も下りました。工事期間中は皆様に大変ご迷惑をかけましたが、大きな事故や苦情などもなく終わることができました。現在、北1病棟は44床の病室となり、うち24床が保護室又は個室という状況で運用しております。ハード的な基準で言えば「精神科救急入院」の基準を満たしており、今後は患者さんには満床などの事情で入院をお待たせすることなく早期に入院していただき、そして効果的集中的に治療し早期に退院していただくという流れを作り出せればと考えております。最終的には「精神科救急入院」の基準を取得し、地域の精神医療に貢献していきたいと思っております。（医事経理：長岡）



赤枠の部屋が今回保護室及び個室になります。

北1階（精神科急性期治療病棟）

	改修前	改修後
病棟病床数	56床	44床
保護室及び個室	12床	24床
4床室	44床	20床



OT 学会発表

2019.10.11~12

沖縄県那覇市で10月11日、12日に開催された日本病院地域精神医学会に参加させて頂きました。

日本病院地域精神医学会は、病院（医療）および地域現場での活動が学会の場で情報交換と実質的な討論を心まえて、向上し充実することを目指している学会です。精神医学と地域医学の二領域における学術団体として指定されており、学会員は医師、看護職、心理職、ソーシャルワーカー、薬剤師、作業療法士、施設職員と当事者、家族などで構成されています。

退院支援を行う上で主体性を引き出し、自らの意思で選択し行動していけるように支援するプログラムについて『療養病棟における退院支援に向けたプログラム』という演題で発表させて頂きました。

執筆にあたり参考にした文献の著者である作業療法士の先生にお会いすることもでき、今の精神科領域に求められる作業療法や、自分が抱えている現状の課題について指導して頂く機会を得る事が出来ました。学会の日は台風19号が日本列島に上陸しており、

飛行機の欠航が相次ぎましたが、沖縄から出られない環境が功を奏し、

全国から集まった様々な職種の方と観光や食事を通して長時間一緒に色々なお話を伺うことができました。

普段、病院だけで患者さんと接している自分にとって、地域での活動や当事者の意見を聴く機会は貴重で刺激的な経験となりました。（OT:山内安代）



学会名：日本病院地域精神医学会

日時：2019年10月11日・12日

場所：沖縄県 那覇市

発表テーマ：療養病棟における退院支援にむけたプログラム

氏名：山内 安代

「対話元年始めます」～0（れい）からの出発～というテーマで、第10回となる院内学会を12月7日に開催しました。午前中は3群に分け、計9部署が、日ごろの業務や治療の中から得た知識や研究結果、洞察などを発表しました。患者さんのために、という動機だけが共通で、それぞれ違った立場、視点からの発表で、多職種連携の実際などの報告もありました。私たちがこれまでにしてきたことの評価や、これから目指すべき方向性を確認できる時間になったと思います。

午後は筑波大学から齊藤環先生をお迎えし、『オープンダイアログ実践の日本における可能性について』と題し御講演をいただきました。フィンランドの西ラップランド地方で始まった「オープンダイアログ」は、「対話」で急性の精神病症状を改善するというもので、その有効性とその理論に含まれる新しい世界観などのため、驚きをもって精神科関係者に迎えられつつあります。日本での研究と実践の第一人者である齊藤先生からじかにお話を伺う機会に、病院外からの参加者もみられました。参加者がお互いに「対話」をするという時間も作っていただき、さらに理解が深まったと思います。職員間で「対話」の重要性についての話に花が咲き、有意義な一日となりました。（医局：鬼頭）



今回は、「当事者との関わり方・コミュニケーションについて」をテーマに、当院の中央病棟3階看護師長を講師にお招きしました。

講演は、ストレス脆弱性モデル・感情表出と再発率・ゆでたまごの理論・ピグマリオン効果を踏まえ、話し方のちょっとした工夫を取り上げ、

*ゆっくり話してみる⇒「～しなさい」「こうしなさい」よりも「～してもらえると嬉しいな」

*具体的な言い方のほうがいいのかも⇒「ちゃんとしなさい」よりも「朝起きてくれたら嬉しい!」といったように私モードで伝えてみましょう…といった充実の内容でした。ご参加頂いた皆様方には、関わり方について改めて考えてみる機会になったのではないかと思います。講演の後にはグループに分かれての茶話会も

開催し、多くのご家族様のご参加をいただきました。(PSW：柳)

★第5回家族教室のご案内★

テーマ：「家族の体験談と地域家族会の紹介」

講師：兵庫県精神福祉家族会連合会（ひょうかれん）家族相談員

日時：2020.2.8（土）13:00～15:00

場所：当院作業療法棟 1階

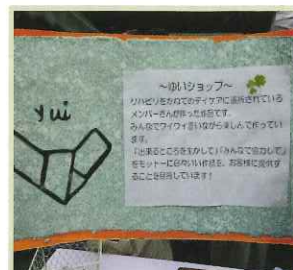
次回も、多数のご参加をお待ちしております。



☀️ デイケアコーナー ☀️

カフェデイケア (2019.11.13)

1月でしたが、この日は暖かく、陽射しが差し込んでまぶしいくらいの気候でした。北病棟前のポケット広場で、ゆいコースの作品販売及びカフェデイケアを開催しました。メンバーさんが販売員となり、実際に来てくださったお客さんに対して接客する良い機会になっています。商品を紹介したり、お金のやり取りをしたり、袋に入った商品をお渡ししたり…イベントの機会だからこそできる、社会経験の場になっています。この日もたくさんのお客さんに来ていただき、みなさんととても喜んでいました。次回は3月のデイケアのふれあいアート展で、みなさんとお会いできることを楽しみにしています♪



年忘れ会 (2019.12.13・12.17)

毎年恒例の年忘れ会の季節がやってきました！今年も美味しいオードブルとお寿司、ケーキに舌鼓を打ち、和気あいあいと楽しい食事の時間を過ごすことが出来ました♪ 午後は出し物やゲームで楽しみました。その後はピアノの発表会を開催しました。普段なかなか人前に出る機会のない人たちも、今日は緊張感のある中でそれぞれが持っている力を発揮されていました。出し物に出られた方、ピアノの発表会に出られた方、みなさんお疲れ様でした！プレゼント贈呈にはサンタクロースさんも登場してくれ、大盛り上がりでした♪ (DC：今津)



外来再診 担当医のご案内 (1月)

診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:15 ~12:00	狩場	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後 13:00 ~16:50	朴 内藤 ※児童・思春期外来	西村	岡本	瀬川 中井	頼 藤堂	/

☆金曜日の午後は2診制になります。

☆初診の方は原則としてその日の初診担当 Dr が診療にあたります。(曜日により常勤医をふりわけています)

☆月曜日午後の診察(朴医師)、水曜日午後の診察(岡本医師)、木曜日午後の診察(中井医師)は予約制です。

☆木曜日午後瀬川医師の診察は予約制(14:00~15:00)となります。※予約票が必要です。

☆※児童・思春期外来は毎週月曜日午後です。(担当：内藤医師、※完全予約制)

編集後記：明けましておめでとうございます。2019年は元号が令和に変わり新しい時代がスタートしました。2020年は「子年=ねずみどし」繁栄の年です。いよいよ東京でオリンピックが開催されるオリンピックイヤー、盛り上がりますね。当院も繁栄するように祈念いたします。本年もよろしくお願ひいたします。(広報委員：I)